

# まちの未来に向けて

## ～これからの府中町の在り方～



府中町の魅力をPRするアニメ「椿町ファミリーの府中町に超夢中」を公開中です。



府中町

府中町は、昭和12（1937）年の町制施行から一度も町村合併を経ることなく、令和9（2027）年には町制90周年を迎えます。この間、人口は5万人を超えるとともに商工業も発達し、商工住のバランスのとれたまちとして発展を続けてきました。

現在の府中町は、実態として「市」と遜色のない状態となっていますが、今後まちが直面する様々な課題を克服して持続的なまちの発展と活性化を促すにあたり、自治体としてどのようにあるべきか検討を進めています。この冊子では、その検討の概要についてお知らせします。

## 1. 府中町の状況

### 【府中町の人口】

府中町の人口は、令和7（2025）年時点で52,074人となっており、全国の町村の中で最も多くなっています。これは、県内23市町においても8番目に多く、市と比較しても遜色のない状態となっています。

なお、過去には府中町以外にも人口が5万人を超える町村がありましたが、それらは全て市になった（市制を施行した）ため、令和2（2020）年時点では府中町のみとなっています。

### 【府中町のまちの状況】

府中町では、マツダ(株)の本社が立地するなど、企業が集積しています。また、大規模複合商業施設（イオンモール広島府中）が立地し、広島都市圏の商業拠点となっているほか、町内を網羅する交通網とともに医療、福祉、教育などの各種都市的サービス業も集積しています。

広島県内 人口上位10自治体  
（令和7年1月1日時点 住民基本台帳人口）

順位	市町	人口
1	広島市	1,173,543人
2	福山市	455,028人
3	呉市	201,242人
4	東広島市	190,911人
5	尾道市	126,396人
6	廿日市市	115,451人
7	三原市	87,075人
8	府中町	52,074人
9	三次市	47,904人
10	府中市	35,105人

このように、府中町は多くの人口を擁し、十分な都市機能を備えた街となっており、他の市と比較しても遜色のない状態となっています。なお、町村が市になる要件は法令で次のとおり定められており、府中町としては、これらの法令要件を概ね満たしていると判断しています。

地方自治法及び広島県の条例に定められた市になるための要件

地方自治法（第8条）		適合状況
1	人口が5万人以上	○
2	中心市街地を形成している戸数が、全戸数の6割以上	○
3	商工業等に従事する人（同一世帯員含む）が、全人口の6割以上	○
4	都道府県の条例で定める都市としての要件を具えている	次のとおり
広島県の条例（市としての要件に関する条例）		適合状況
1	官公署が3以上設けられている	○
2	高等学校若しくはこれに準ずる学校又は中等教育学校が3以上設けられている	調査中
3	公私立の図書館、博物館、公会堂又は公園等の文化施設を有する	○
4	上水道、下水道、軌道又はバス事業等を、当該団体において経営している	○
5	銀行及び会社の数及びその規模が、他の市に比して概ね遜色がない	○
6	商工業等に従事する人（同一世帯員含む）が、最近5年間増加の傾向にある	調査中
7	病院、診療所、劇場、映画館等の施設が、相当数設けられている	○
8	財政状況が他の市に比して概ね遜色がない	○

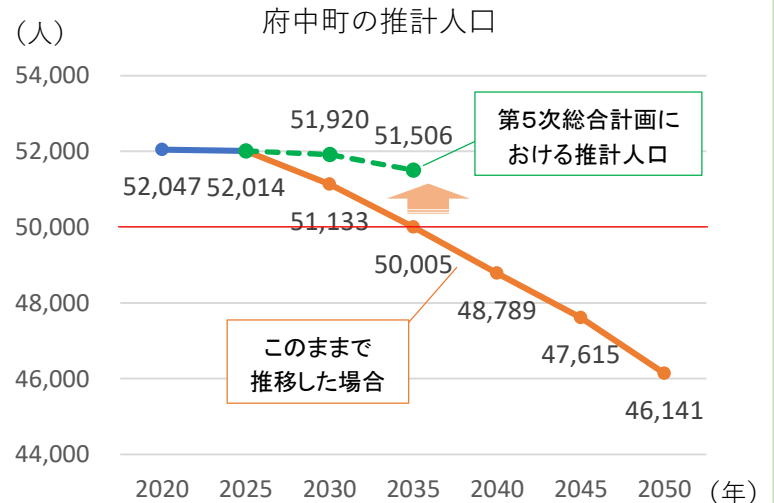
## 2. 直面する課題への対応

少子高齢化の進行により日本の総人口は減少局面に入っており、府中町でも令和4（2022）年をピークに人口は減少傾向となっています。

地域は「人」で成り立っていますので、人口減少は自治体運営にあたっての大きな課題となります。人口減少をくい止め、現在の人口規模を維持した上で、自治体として持続的な成長へつなげていくためには、**住民や企業に選ばれる、魅力のある自治体**となる必要があります。

府中町では、今後直面する課題の解決に向け、町の最上位計画である「府中町第5次総合計画」を策定し、**地域の活性化**や5万人規模の**人口の維持を図る**ため、様々な取組を行うこととしています。

行政の責務として、現在行われている対策や取組だけでなく、**子供や孫の将来世代も見据えたまちの発展・成長**につなげる施策を進めていくことが、極めて重要と考えます。



※「国立社会保障・人口問題研究所」の将来推計人口を基に当町で作成

府中町の出生数

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025
出生数	483	518	473	447	415	369

## 3. 市になるという選択肢

過去に人口が5万人を超えた町村は大半が数年のうちに市制を施行しており、市制施行は、地域の発展を目指す行政の基本的な姿勢となっています。

府中町では、過去に市制を施行した複数の自治体への調査を行い、市制を施行する場合のメリットを次のとおり考えています。

- ・まちのイメージや魅力を高め、発信することで、長期的な視点で人や企業を呼び込み、**将来的な地域の発展・成長や、にぎわいの創出**につながっていく。
- ・市制施行の人口要件を満たす町は全国で府中町だけであり、**府中町でしかできない取組**として注目度も高く、**大きなアピール**となる。
- ・他都市との連携強化などにより、**自治体としての力が高まる**。
- ・住民の地域への**愛着や誇りの向上**につながる。
- ・自治体としての**発言力、影響力、存在感**が高まる。

一方で、デメリットとしては、移行の際に看板等の修正に経費がかかることや、住民の住所変更手続きが一部で発生することが考えられます。これらについては、他の自治体を参考として、経費の削減や、手続きに係る情報提供による住民の負担軽減を検討していきます。

以上のことを考慮すると、短期的な視点では大きな変化は無いようにも感じられますが、今後府中町が直面する課題を克服し、地域の発展を目指すという長期的な視点で考えると大きな効果があり、**子供や孫など将来世代も見据えたまちの発展**へとつなげていく手段として、**市制施行は有力な選択肢である**と考えられます。

## 都市公園における官民連携事業

### 【取組概要】

WACTORYパーク揚倉山（揚倉山健康運動公園）について、官民連携（Park-PFI）による再整備を行います。これにより、地域住民の新たな「集いの場」を創出するとともに、女子プロサッカーチーム「サンフレッチェ広島レジーナ」の練習拠点として利用する予定です。

### 【市制による効果】

市制施行による話題性や発信力の強化は、都市型産業であるプロスポーツチームによる発信の効果と相乗し、人口の維持や企業誘致についてさらなる効果を高めることが期待できます。



再整備のイメージ

## 向洋駅周辺土地地区画整理事業

### 【取組概要】

JR向洋駅周辺地区は、マツダ(株)本社のほか都市機能が集積しています。連続立体交差事業と土地地区画整理事業を一体的に進めることで、今後さらなる発展へつながる可能性を有しています。

### 【市制による効果】

利便性や拠点性といった観点から、向洋駅周辺地区は企業誘致の有力な拠点であると考えられます。誘致には企業による認知が重要になるため、市制施行による都市的イメージの向上や認知度の向上は、大きな効果があると考えられます。



完成イメージ

※完成イメージは変更となる場合があります。  
※平成30年9月開催広島市東部地区連続立体交差事業都市計画変更素案の説明会資料より。

## 地域の活性化、つながりの強化

### 【取組概要】

当町は、これまで一度も合併をせず現在に至っており、これは、住民が地域に愛着を持ち、地域の存続を願ってきた結果であるといえます。当町では、これまで築いてきた地域のつながりを生かし、地域の活性化を推進していきたいと考えています。

### 【市制による効果】

これまで住民が築いてきた地域の形が町から市になることは、住民にとって大変励みになります。このように、市制施行により地域への愛着を深め、住民の誇りの醸成に寄与することが期待できます。



南公民館の建替イメージ

